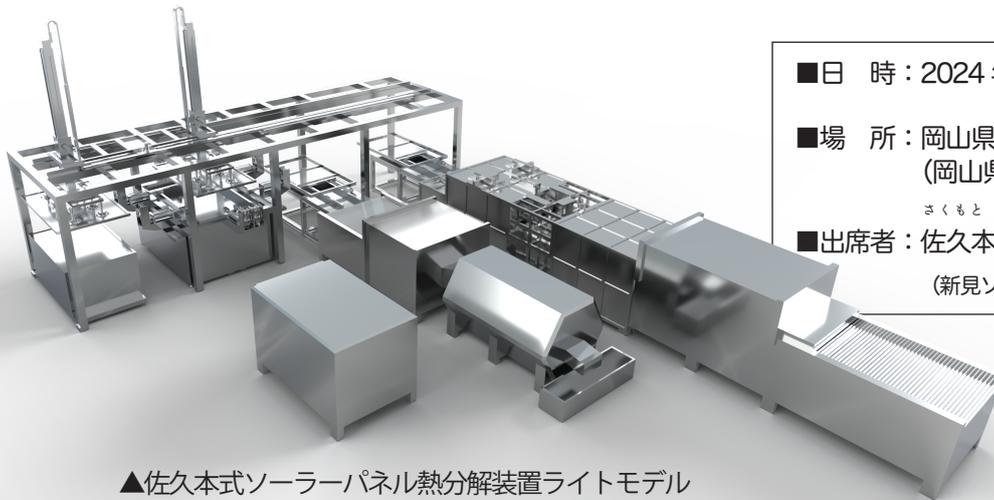


佐久本式熱分解装置『ライトモデル（普及機）』製造へ

ソーラーパネルリサイクル義務化の動き受け 12月2日（月）に記者会見

株式会社新見ソーラーカンパニー（代表取締役 佐久本 秀行）は、2024年12月2日（月）14時より、岡山県天神山文化プラザ（岡山県岡山市）にて記者会見を開催し、新たに製造する『佐久本式ソーラーパネル熱分解装置 ライトモデル（普及機）』について発表を行います。2024年4月に完成した連続機に続く『ライトモデル』は、技術の高性能さを維持しながら、より多くの企業や自治体で導入可能なコストパフォーマンスを実現し、ソーラーパネルのリサイクル義務化の動きに対応します。また、弊社は2024年12月4日（水）～6日（金）に東京ビッグサイトで開かれる「サーキュラーパートナーシップ EXPO」に出展し、『ライトモデル』の先行予約販売を開始いたします。



▲佐久本式ソーラーパネル熱分解装置ライトモデル

- 日 時：2024年12月2日（月）14時00分～
- 場 所：岡山県天神山文化プラザ 3F 第1会議室
（岡山県岡山市北区天神町8-54）
さくもと ひてゆき
- 出席者：佐久本 秀行
（新見ソーラーカンパニー 代表取締役）

普及型『ライトモデル』開発の背景

佐久本式ソーラーパネル熱分解装置は、新見ソーラーカンパニーが開発した、使用済みソーラーパネルを高効率かつ環境負荷を抑えてリサイクルする装置です。この装置は、過熱水蒸気を用いてパネルを熱分解し、ガラス、太陽電池セル、銅線などの素材を高純度で分離・抽出します。

2024年4月に完成したこの装置の連続機は、画期的な技術性能で業界に革新をもたらしました。一方で、有機物と無機物を完全に分離するこの処理技術をより多くの企業や自治体に届けるには、コスト削減や導入しやすさを重視したモデルが必要で、4月以降、研究を重ねてきました。

『ライトモデル』は、次の3つの特長を備えています。

①導入しやすいコスト

必要な機能に絞り込むことで、価格を抑え、中小企業や地方自治体でも採用可能に。

②高効率かつ省エネ設計

機能を絞り込むことで処理能力を高めることができ、エネルギー消費を50%以上削減。

③レイアウトの自由度が高い

バッチ式（処理対象を一定量ずつ区切って処理する方式）のため、様々な施設で設置可能。

『ライトモデル』は、これまでアクセスできなかった企業や自治体にも技術の恩恵を届ける装置として設計されています。

<報道関係の方からのお問い合わせ先>

株式会社新見ソーラーカンパニー 担当 川島 TEL：0867-88-8217 MAIL：info@niimi-solar.co.jp

<株式会社新見ソーラーカンパニー 川島千絵宛>

【FAX 返信用紙】

FAX 番号 : **086-899-6477**

メールの場合は **info@niimi-solar.co.jp** まで

※お手数をお掛けしますが、次の項目にご記入の上、12月1日（日）17時までに、ご返信願います。必要事項をメールでお答えいただいてもかまいません。

記者発表に参加します (会場に来られる方はチェック願います)

貴社名	
貴名	
ご連絡先電話番号 (当日連絡が取れる番号 をお願いします)	
メールアドレス	
撮影有無	スチールカメラ 台 / ムービーカメラ 台
要望事項	(会場のご取材でのご要望事項がございましたら、ご記入願います)

当日は専用駐車場が利用できません。お越しの際は、近隣の駐車場をご利用いただけますようお願い申し上げます。何卒ご理解とご協力のほど、よろしくお願いいたします。

<報道関係の方からのお問い合わせ先>

株式会社新見ソーラーカンパニー 担当 川島 TEL : 0867-88-8217 MAIL : info@niimi-solar.co.jp